

「イエス！次郎（校長室より）」（第8号） 「ジローのやり」

「イエス！次郎（校長室より）」（第3号）に書いたとおり、ひょんなことから私は、やり投げをすることになった。豊玉高校で1回、島原高校で2回、私は長崎県マスターズ陸上競技大会（55～59歳の部）に出場した。参加者が1人だったため3連覇したが、年齢とともに記録は悪くなる一方だった。

島原高校に転勤してから6月に入って、練習用のやりを通販で注文した。すぐに手配完了のメールが届いたが、やりはなかなか届かなかった。すると、注文してから5日後に、前任校の豊玉高校から電話があった。「次郎先生、豊玉高校にやりが届きましたけど。またやっちゃいましたね。」と笑っている。そんなはずはない。私は確実に島原高校あてに送るよう注文した。すぐにスポーツ店に確認の電話を入れると、スポーツ店の記録にも島原高校となっているとのこと。「じゃあ、何で？」と思ったが、スポーツ店の調査の結果、以前、私が豊玉高校でもやりを注文していたので、その履歴が運送業者に残っており、間違えが生じたらしい。「校長先生、豊玉高校のやりを島原高校に送り直すより、新しいやりを今からすぐに島原高校へ送った方が早いので、そうさせていただきます。豊玉高校のやりは、運送業者がスポーツ店へ戻します。この度は、大変申し訳ありませんでした。」と、心のこもった謝罪を受けた。校長と名乗っていたし、カスタマーハラスメント（カスハラ）（顧客が企業に対して理不尽なクレーム、言動をすること）をとられないように、丁寧に、「こっちは長雨続きで練習できないので、全く気にしないでください。ただ、豊玉高校には私の無実を証明するために、私が電話しますから。」と伝えた。スポーツ店は、恐縮しながらも承諾した。

「やっぱり、俺のミスじゃなかったよ。」と電話して、豊玉高校のやりは、運送業者がスポーツ店へ戻すことを伝え、「え～！？どうしよう。」と言って、次の2つの画像が送られてきた。



校長を「ジロー」と呼び捨てにしているが、応援してくれるその気持ちがとても嬉しかった。

例年8月に実施されていた長崎県マスターズ陸上競技大会だが、今年はなんと、10月31日に実施される。例年参加者は1人だったのだが、今年はなんと、他県からの参加者も含め、4人もエントリーしている。しかし、他人は関係ない。自分自身に挑戦する機会だと捉えて頑張ろうと思う。去年の自分に必ず勝つぞ！「イエス！」

【緊急告知】

校長室にて、夢を語ってくれる人、悩みを話してくれる人に、
「長男だけ次郎フィギュアmini」をプレゼントします！

